

空知信用金庫・第142回地域企業景気動向調査

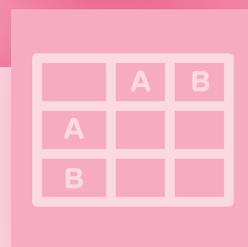
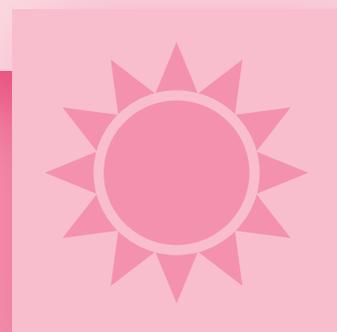
景況レポート

2022.1

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和3年10月～12月の景気の現状と令和4年1月～3月の見通しを調査したものです。

令和4年1月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話(0126)22-1171



第142回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

若見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和3年10月～令和3年12月期（実績） 令和4年1月～令和4年3月期（予想）
令和3年11月26日～12月7日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものの。
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

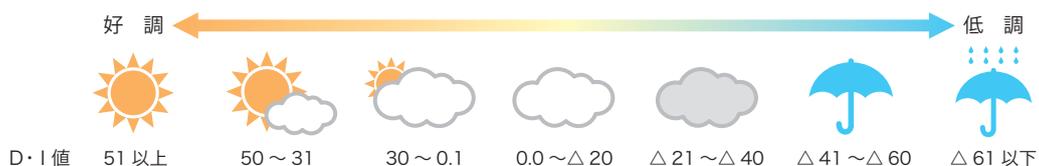
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区分	調査対象企業	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	24	23	96
卸売業	14	14	100
小売業	57	55	96
サービス業	32	30	94
建設業	43	43	100
不動産業	7	7	100
運輸業	17	17	100
農業	28	27	96
計	222	216	97

6. 天気図の見方

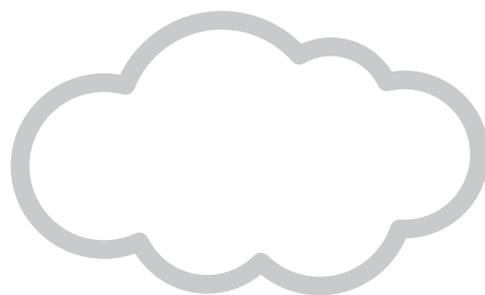
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「2022年（令和4年）の経営見通し」

総 合



概 況

足元の景況感は上向きつつも、先行きに不安

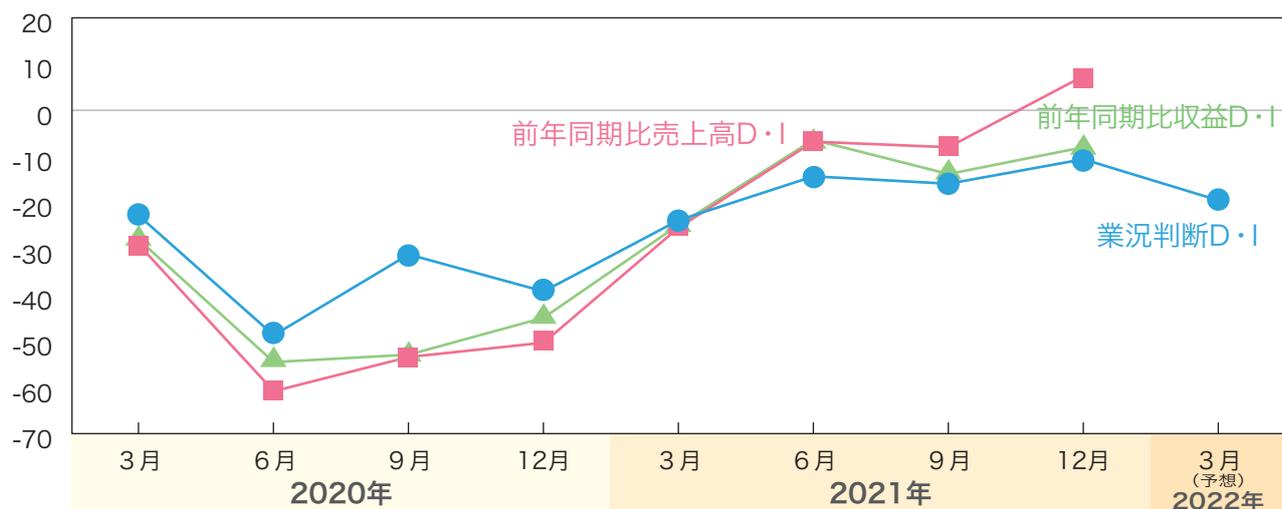
今期の業況判断指数（D・I値）は、△10.6と前期（7月～9月）より5.3ポイントの小幅改善となり、依然厳しい水準にあるものの、改善傾向がみられました。収益面では、前年同期比売上高D・Iが7.4と前期比15.4ポイント改善、また同収益D・Iも△8.0ながらも同5.8ポイント改善しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△39.2	△15.9	△10.6	△19.5
売上高D・I	△50.3	△8.0	7.4	—
収益D・I	△44.9	△13.8	△8.0	—

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数（D・I値）は△19.5、今期実績比8.9ポイントの悪化見通しです。業種別では、8業種中、小売業で小幅改善、サービス業で現状維持、残りの6業種で悪化の見通しです。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△13.1	8.7	26.1	26.1
卸 売	0.0	21.4	50.0	21.4
小 売	5.5	5.5	25.5	14.5
サービ	6.7	3.3	6.7	3.3
建 設	7.0	16.3	23.3	13.9
不動産	—	14.3	14.3	14.3
運 輸	△11.8	5.9	76.5	41.1
農 業	0.0	△14.8	25.9	△11.1

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△8.7	34.8	56.5	52.2
卸 売	0.0	50.0	57.1	35.7
小 売	△1.9	16.4	52.7	34.5
サービ	10.0	10.0	40.0	36.7
建 設	11.7	41.9	72.1	60.5
不動産	△14.3	14.3	14.3	14.3
運 輸	0.0	47.0	△52.9	△23.5
農 業	14.8	18.5	37.0	11.1

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△30.4	△39.2	△43.5	△34.8
卸 売	△21.4	△28.6	△28.6	△21.4
小 売	△16.4	△25.5	△20.0	△18.2
サービス	△33.3	△16.7	△10.0	△10.0
建 設	△37.2	△39.5	△27.9	△23.3
不動産	0.0	-	△14.3	△14.3
運 輸	△52.9	△52.9	△47.1	△52.9
農 業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△4.3	△13.1	△4.4	△4.3
卸 売	△28.6	14.3	7.1	-
小 売	△21.8	△9.1	0.0	△1.8
サービス	△16.7	△6.7	△3.3	△3.3
建 設	△7.0	11.6	△2.4	△4.6
不動産	-	△14.3	-	-
運 輸	△11.7	5.9	△5.9	0.0
農 業	-	-	-	-

○借入金の動き・難易度

(%)

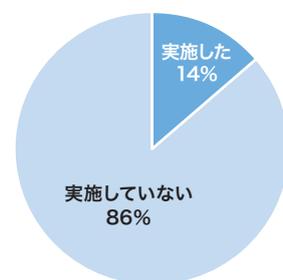
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難 しい	該 当 なし
製 造	-	4.3	17.4	56.5	8.7	17.4
卸 売	7.1	7.1	35.7	64.3	-	-
小 売	20.0	12.7	7.3	69.1	7.3	16.3
サービス	13.3	-	6.7	73.3	3.3	16.7
建 設	18.6	9.3	34.9	55.8	4.7	4.6
不動産	28.6	-	-	85.7	-	14.3
運 輸	17.6	17.6	11.8	70.6	5.9	11.7

○設備投資の動き

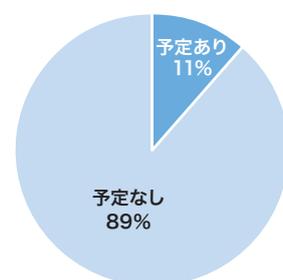
(%)

	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	17.4	26.1	21.7	17.4
卸 売	7.4	7.1	7.1	14.3
小 売	10.9	9.1	12.7	7.3
サービス	20.0	6.7	16.7	6.7
建 設	4.7	4.7	14.0	11.6
不動産	-	-	-	-
運 輸	23.5	11.8	5.9	23.5
農 業	11.1	11.1	3.7	3.7

2021年10月~12月期
設 備 投 資

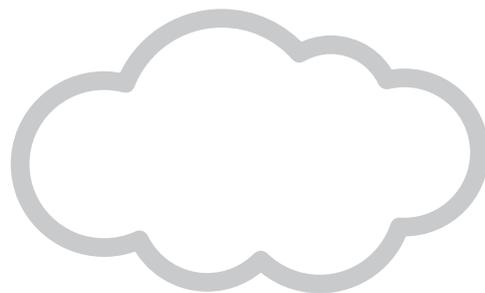


今後3ヶ月以内
設 備 投 資 計 画





製造業



概況

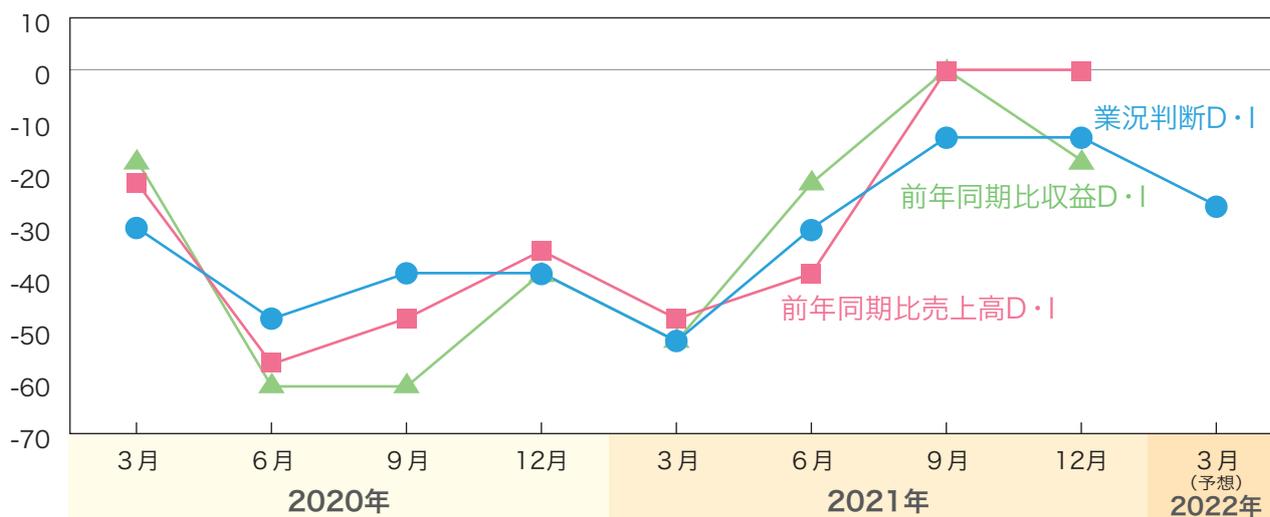
今期の業況判断指数（D・I値）は、△13.0と前期（7月～9月）と変わらず、冴えない業況が継続しました。食料品製造業及びその他の製造業で改善しましたが、窯業・土石製品製造業及び建設・建築用金属製品製造業で悪化、他の業種は現状維持でした。収益D・I値は△17.4と下降、原油価格の高騰が採算悪化の要因となっています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△39.1	△13.0	△13.0	△26.1
売上高D・I	△34.8	0.0	0.0	—
収益D・I	△39.1	0.0	△17.4	—

来期の見通しについて

食料品及び金属製品製造業でやや改善、窯業・土石製品製造業では全事業先が下降を見込み、次に建設・建築用金属製品製造業が続きました。全体では悪化予想となり、比較的低調な業況が継続される見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・原材料が石油のため、仕入れ価格が高騰しており、利益を圧迫している。
- ・原材料の高騰に対し、一部販売価格に転嫁しているが、厳しい状況が続いている。
- ・梱包用などの資材高騰が収益に影響している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 52.2%	売上の停滞・減少 52.2%
第2位	人手不足 34.8%	工場・機械の狭小・老朽化 47.8%
第3位	原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 30.4%	原材料高 43.5%

(複数回答)

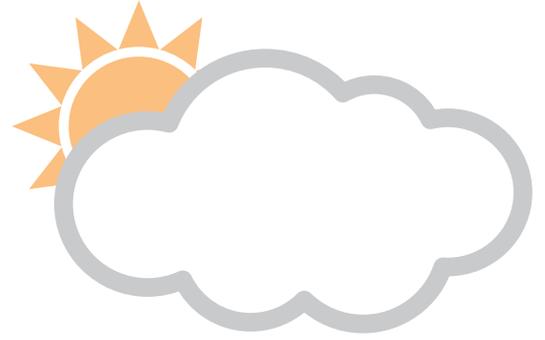
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 56.5%	経費を節減する 60.9%
第2位	経費を節減する 52.2%	人材を確保する 52.2%
第3位	人材を確保する 39.1%	販路を広げる 47.8%

(複数回答)



卸売業



概況

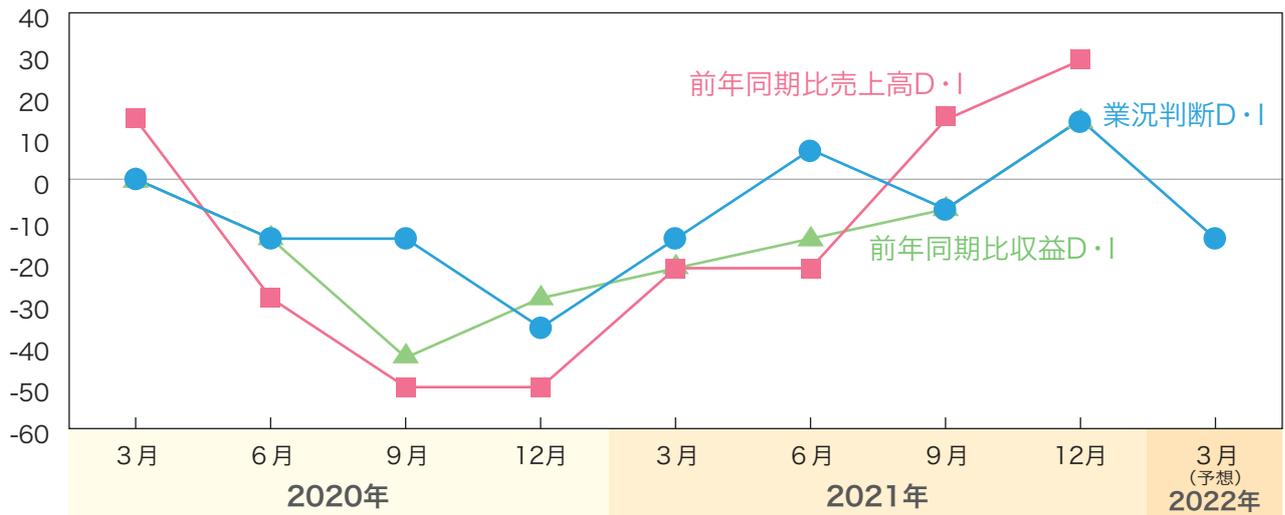
今期の業況判断指数(D・I値)は、14.3と前期(7月～9月)に比べ21.5ポイント改善しました。農畜産物・水産物卸売業で大幅に改善、次に建築材料卸売業が続きました。その他の卸売業がやや下降、他の業種はほぼ横ばいとなり、2四半期ぶりにプラスに転じました。特に、農畜産物・水産物卸売業では売上高・収益D・Iが大きく上昇し、回復の押上げ要因となりました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△35.7	△7.2	14.3	△14.3
売上高D・I	△50.0	14.3	28.6	—
収益D・I	△28.6	△7.2	14.3	—

来期の見通しについて

建築資材卸売業及びその他の卸売業が下降見込みで、他の業種は現状維持を予想しており、全体では悪化の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント (聞き取りを含む) の一部

- ・ 資材の価格は高騰しているが、うまく転嫁できている。
- ・ 豪雪、コロナの収束により業況は良い。
- ・ メロンの収量は減少。売れ行きは例年に比べ悪かった。原材料の高騰が経営を圧迫しかねない。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 50.0%	売上の停滞・減少 35.7%
第2位	同業者間の競争の激化 35.7%	仕入先からの値上げ要請 販売商品の不足 28.6%
第3位	人手不足 14.3%	人手不足 流通経路の変化による競争の激化他 21.4%

(複数回答)

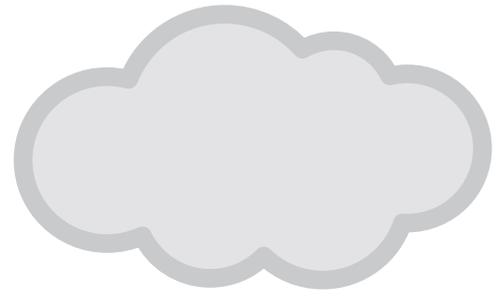
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 64.3%	販路を広げる 57.1%
第2位	情報力を強化する 人材を確保する 21.4%	経費を節減する 42.9%
第3位	提携先を見つける 14.3%	人材を確保する 35.7%

(複数回答)



小売業



概況

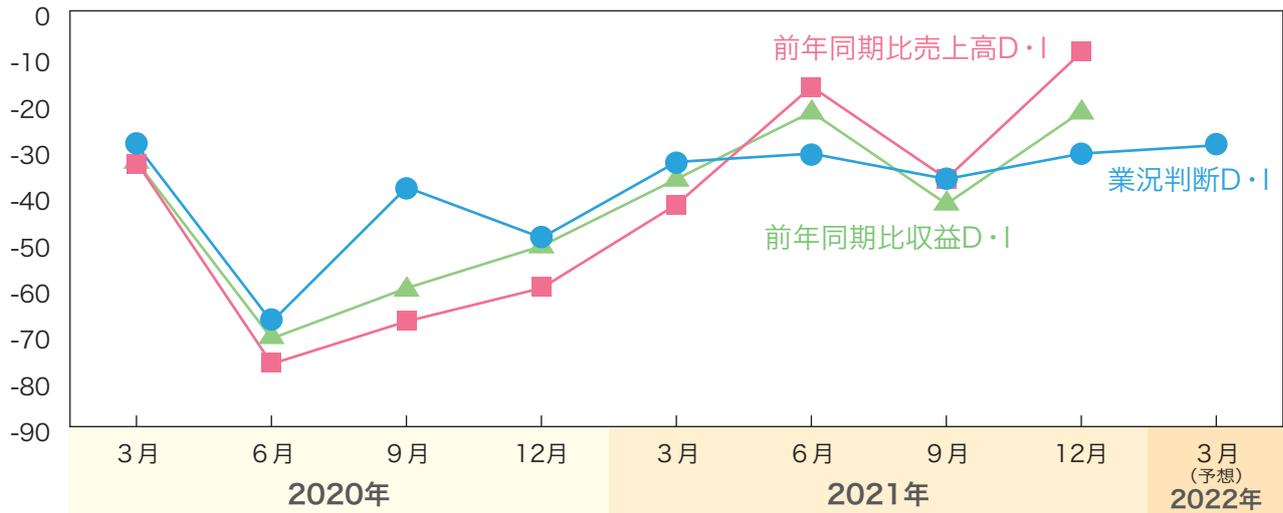
今期の業況判断指数（D・I値）は、△30.9と前期（7月～9月）から5.5ポイント改善しましたが、低調な業況が継続しました。木材・建築材料小売業、スポーツ関連小売業及びその他の小売業で改善しましたが、家庭用機械・電気機械器具小売業、医薬品・化粧品小売業及び燃料小売業で下降しており、全体の業況は小幅改善に止まりました。

	前年同期	前期	今期	見通し
業況D・I	△49.1	△36.4	△30.9	△29.1
売上高D・I	△60.0	△36.3	△9.0	—
収益D・I	△50.9	△41.8	△21.8	—

来期の見通しについて

家庭用機械・電気機械器具小売業及び燃料小売業で実績予想を上回っておりますが、医薬品・化粧品小売業、自転車小売業では悪化を見込み、全体では現状維持の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・東京オリンピックもあり、スポーツ用品の販売は好調。北京オリンピックを控え、需要増加が見込まれる。
- ・燃料価格の上昇を受けて、個人の燃料消費が落ち込んでいる。
- ・半導体不足の影響大きく、複合機の納期が遅れている。そのため、代金回収も遅れ、資金繰り悪化している。
- ・「GoToEat」食事券利用客により、やや増収している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今期
第1位	売上の停滞・減少 63.6%	商圏人口の減少 56.4%
第2位	商圏人口の減少 45.5%	売上の停滞・減少 47.3%
第3位	大型店との競争激化 23.6%	人手不足 20.0%

(複数回答)

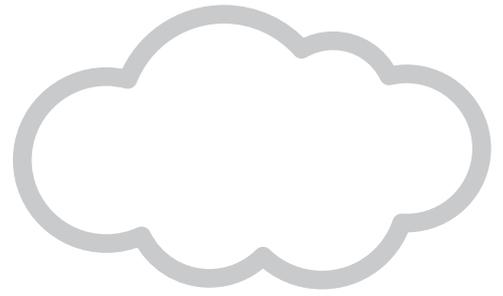
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今期
第1位	経費を節減する 65.5%	経費を節減する 58.2%
第2位	品揃えを改善する 30.9%	売れ筋商品を取扱う 23.6%
第3位	売れ筋商品を扱う 23.6%	人材を確保する 20.0%

(複数回答)



サービス業



概況

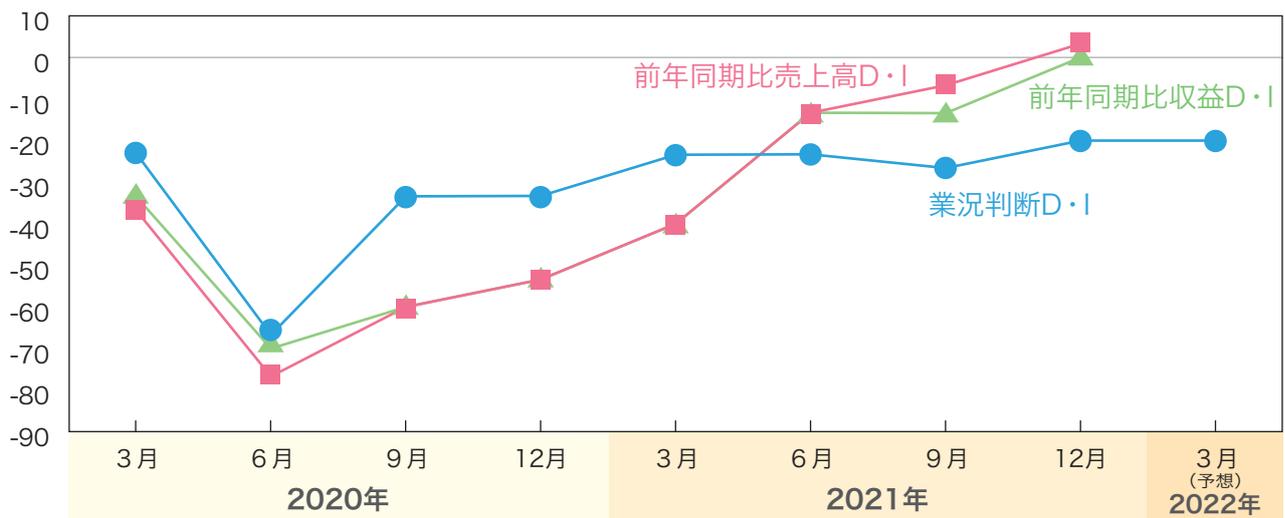
今期の業況判断指数（D・I値）は、△20.0と前期（7月～9月）に比べ6.6ポイントの小幅改善となりましたが、冴えない業況が続きました。自動車整備業及び旅館宿泊所で改善しましたが、洗濯・理容・浴場業で下降、その他の業種は現状維持での推移となり、全体では僅かながら改善しております。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△33.3	△26.6	△20.0	△20.0
売上高D・I	△53.4	△6.7	3.3	-
収益D・I	△53.4	△13.4	0.0	-

来期の見通しについて

自動車整備業及び旅館宿泊所でやや改善予想も、洗濯・理容・浴場業で悪化を見込んでおり、今期実績と同レベルが見込まれ、比較的低調な業況の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・材料となる部材の価格上昇等の影響を受けている。
- ・折込収入は戻りつつあるが、未だにコロナ前の水準には戻っていない。
- ・半導体の品薄状態が続き、仕入れ量減少、経営に影響でている。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 53.3%	商圈人口の減少 50.0%
第2位	商圈人口の減少 人手不足 36.7%	売上の停滞・減少 33.3%
第3位	同業者間の競争の激化 23.3%	材料価格の上昇 人手不足 23.3%

(複数回答)

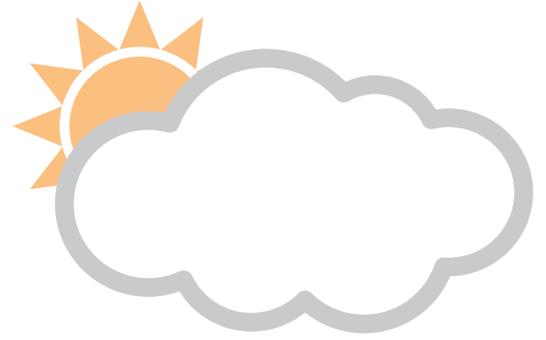
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 53.3%	経費を節減する 60.0%
第2位	販路を広げる 50.0%	販路を広げる 30.0%
第3位	技術力を強化する 人材を確保する 26.7%	技術力を強化する 20.0%

(複数回答)



建設業



概況

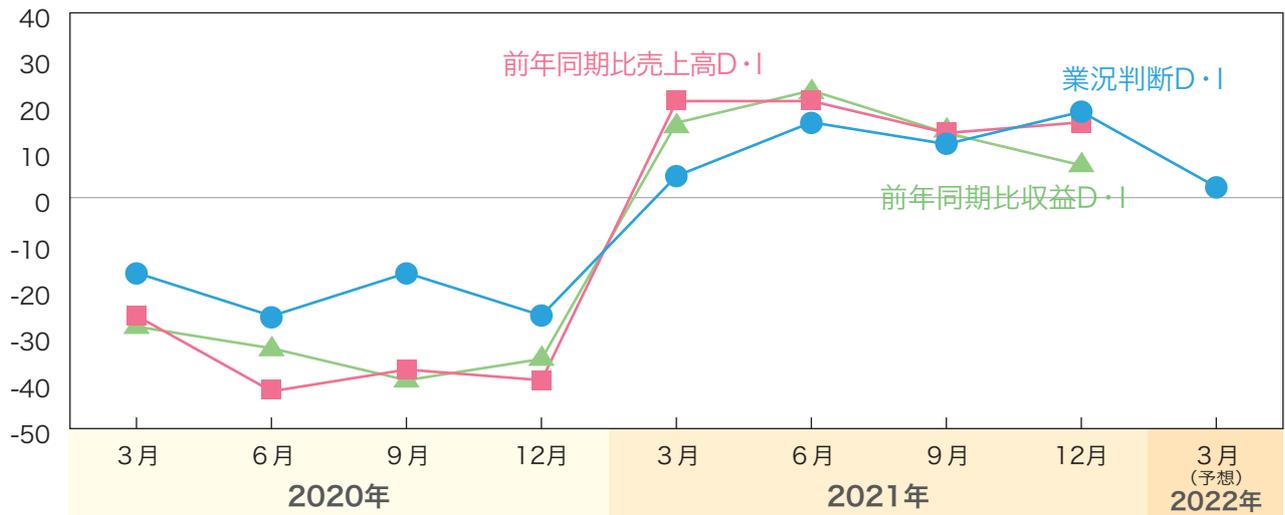
今期の業況判断指数（D・I値）は、18.6と前期（7月～9月）から7.0ポイント上昇し、比較的好調な業況を維持しております。総合工事業は横ばいながら、職別・設備工事及び設備工事業でやや上昇しており、押上げ要因となりました。主要指標（売上高D・I 収益D・I）は前期比並みに推移して、4期連続でプラスが続きました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△25.5	11.6	18.6	2.3
売上高D・I	△39.5	14.0	16.3	-
収益D・I	△34.9	14.0	7.0	-

来期の見通しについて

職別工事業、設備工事業及び総合工事業のすべてが落込み予想ですが、特に総合工事業はマイナス予想に転じており、全体では悪化の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・原材料については年度当初に一括仕入れし、現状の影響は少ないが、今後は影響が出てくる可能性がある。
- ・土木請負・材料費元請負担の契約が多く、資材高等の影響は少ない。
- ・除排雪業務における、原油高騰の影響は非常に大きい。
- ・材料の仕入れ価格が上昇しており、翌年の受注見積りができない状況。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人手不足	53.5%	材料価格の上昇	53.5%
第2位	同業者間の競争の激化	32.6%	人手不足	37.2%
第3位	売上の停滞・減少	27.9%	同業者間の競争の激化	20.9%

(複数回答)

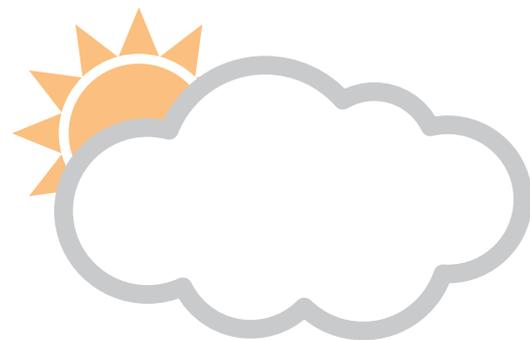
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する 人材を確保する	44.2%	人材を確保する	48.8%
第2位	販路を広げる	32.6%	経費を節減する	34.9%
第3位	技術力を強化する	20.9%	技術力を強化する	23.3%

(複数回答)



不動産業



概況

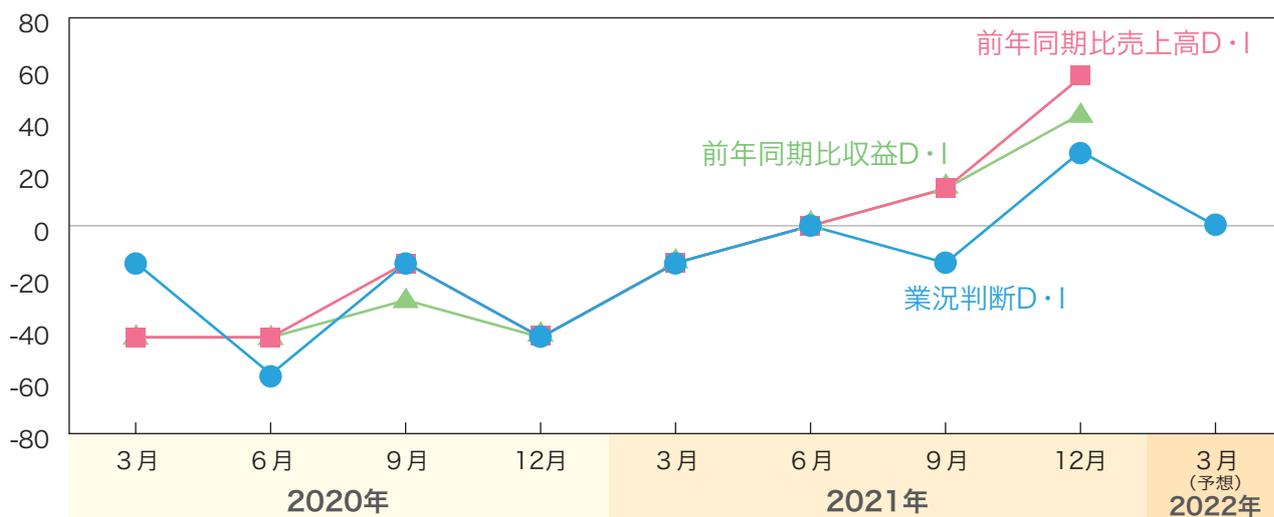
今期の業況判断指数（D・I値）は28.6となり前期（7月～9月）から42.9ポイント上昇し、大幅に好転しました。収益面では、前年同期比売上高D・Iが57.1と前期比42.8ポイント、また同収益D・Iも42.9と前期比28.6ポイントといずれも大きく改善しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△42.9	△14.3	28.6	0.0
売上高D・I	△42.9	14.3	57.1	—
収益D・I	△42.9	14.3	42.9	—

来期の見通しについて

貸事務所・貸家業では現状維持を予想、不動産代理・仲介業では今期の反動及び冬期要因が重なり、前期を下回る冴えない業況となる見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・不動産仲介は順調だが、建築資材高騰が続けば、新築需要減少が予想され、コロナによる主婦パート収入の減少により、世帯収入総額の減少が予想され、先行きが不安。
- ・親会社からの新築需要は相応にあり、当社の土地仲介も好調を維持。若年顧客が多く、将来への不安から買い控えが予想される。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 71.4%	商品物件の縮小 42.9%
第2位	同業者間の競争の激化 57.1%	同業者間の競争の激化 利幅の縮小 28.6%
第3位	商品物件の縮小 利幅の縮小 28.6%	

(複数回答)

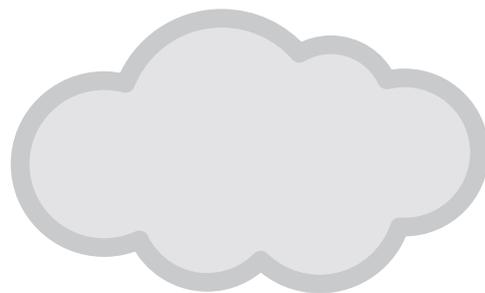
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	軽費を節減する 71.4%	経費を節減する 71.4%
第2位	宣伝・広告を強化する 販路を広げる 42.9%	情報力を強化する 57.1%
第3位	情報力を強化する 不動産の有効活用を図る 28.6%	宣伝・広告を強化する 42.9%

(複数回答)



運輸業



概況

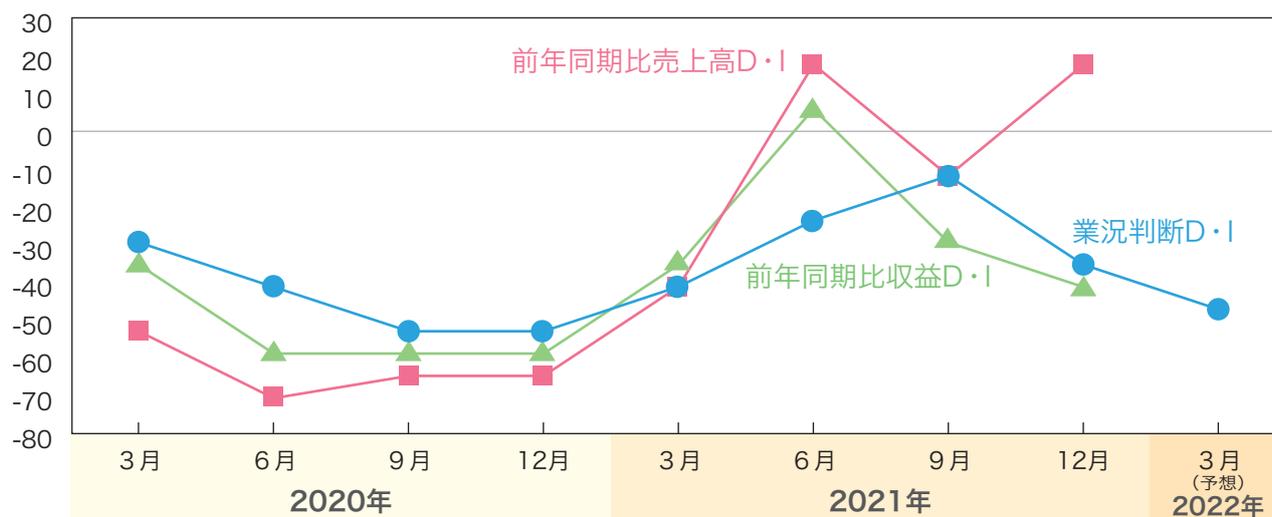
今期の業況判断指数（D・I値）は、△35.3と前期（7月～9月）に比べ23.5ポイント悪化しました。全体ではコロナが落ち着き、人流の回復や小荷物特需による売上高D・I値は上昇しましたが、燃料高騰を要因とする収益への悪影響を実感した結果が反映されていると思われます。

来期の見通しについて

運輸業全体が、コロナの第6波及び燃料価格の高騰による収益悪化に対する危機感を持ち、先行きに不安が大きく、更に悪化する見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△52.9	△11.8	△35.3	△47.1
売上高D・I	△64.7	△11.8	17.6	—
収益D・I	△58.8	△29.4	△41.2	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・燃料費の上昇により、利益は低下。今後の動向に注目している。
- ・足元の燃料価格高騰が打撃となっている。人手不足解消のため、積極的に採用活動をしている。
- ・原油価格高騰の影響を受けるものの、手元資金潤沢にあり資金繰りに問題ない。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人手不足	58.8%	燃料価格の上昇	100.0%
第2位	売上の停滞・減少	41.2%	人手不足	58.8%
第3位	同業者間の競争の激化	35.3%	売上の停滞・減少	23.5%

(複数回答)

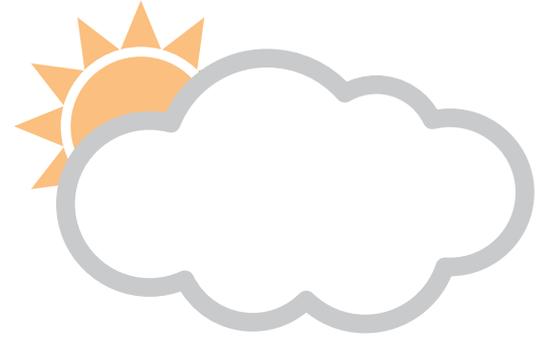
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する	70.6%	経費を節減する	76.5%
第2位	労働条件を改善する	35.3%	販路を広げる	41.2%
第3位	販路を広げる	29.4%	労働条件を改善する	29.4%

(複数回答)



農業

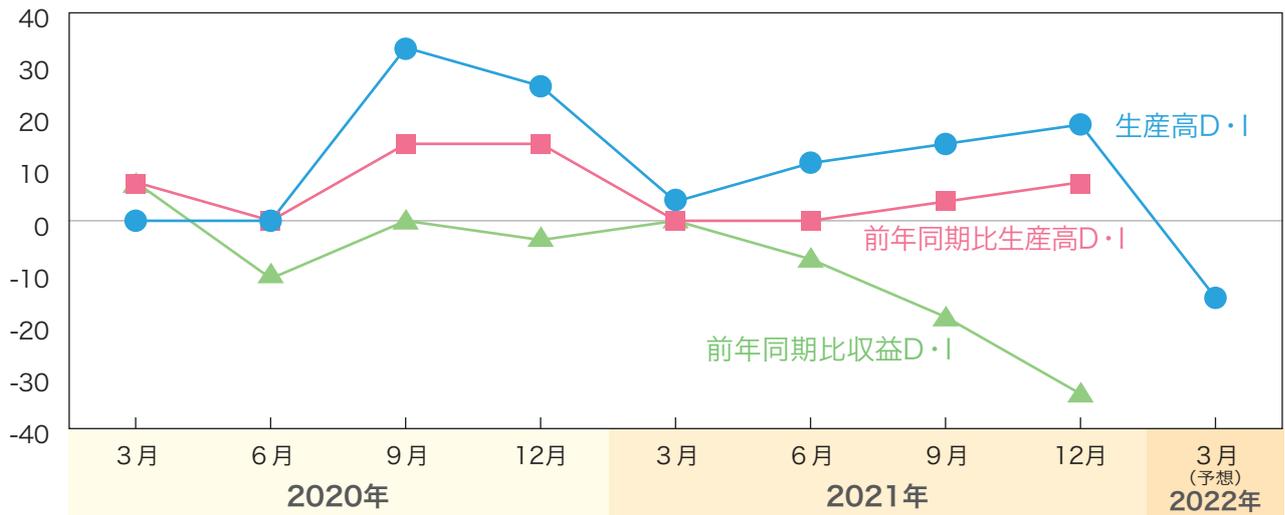


概況

生産高D・I値は、前期比3.7ポイント好転しました。基幹作物の作柄は、秋麦「やや良」・大豆「平年並」・米「良」・玉ねぎ「やや不良」の実績となっていますが、玉ねぎについては取引価格の高値が維持・継続しました。収益D・Iは△33.3となり前期比14.8ポイント悪化しましたが、米価下落、生産資材の高騰が主な要因と見られます。来期は、生産資材の高騰を背景に見通しは厳しく、特に米農家では、米価下落、生産調整に加え水田利活用交付金制度の厳格化を控え、環境変化への対応力が求められます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	25.9	14.8	18.5	△14.8
前年同期比生産高D・I	14.8	3.7	7.4	-
収益D・I	△3.7	△18.5	△33.3	-

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント (聞き取りを含む) の一部

- ・ 販路は徐々に拡大 (ビジネスマッチングや販売先からの紹介)。
- ・ 輸送コスト増が収益に影響。
- ・ 米価は下落も収量でカバーできた。資材価格の上昇を懸念している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人手不足	48.1%	生産者価格の低迷	44.4%
第2位	機械・設備の老朽化	37.0%	受注(需要)の停滞・減少	37.0%
第3位	生産者価格の低迷	25.9%	人手不足	29.6%

(複数回答)

特別調査

2022年(令和4年)の経営見通し

当金庫が今回実施致しました第142回中小企業景気動向調査と併せて(運輸業と農業を除く)172先について「2022年(令和4年)の経営見通し」をアンケート調査した結果です。

問1. 貴社では、2022年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|---------|------|---------|
| 1 非常に良い | 4 普通 | 5 やや悪い |
| 2 良い | | 6 悪い |
| 3 やや良い | | 7 非常に悪い |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.6%
2 良い	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	14.3%	1.7%
3 やや良い	4.3%	7.1%	5.5%	3.3%	0.0%	0.0%	3.5%
4 普通	21.7%	35.7%	21.8%	3.3%	32.6%	28.6%	22.7%
5 やや悪い	43.5%	21.4%	49.1%	63.3%	48.8%	57.1%	48.8%
6 悪い	21.7%	28.6%	18.2%	23.3%	14.0%	0.0%	18.6%
7 非常に悪い	4.3%	7.1%	5.5%	3.3%	2.3%	0.0%	4.1%

2022年の景気見通しに対し、全事業先で「良い」(やや良い・非常に良いを含む)と回答した先は5.8%(0.0%)に止まりました。「普通」の回答率が22.7%(11.6%)、「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)と回答した事業先は全体で71.5%(88.4%)となり、景気の見通しは依然として厳しい状況下にあります。前年よりもやや改善を見通しております。また、「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)とした業種はサービス業89.9%(89.9%)が最も高く、以下小売業72.8%(94.5%)、製造業69.5%(95.6%)が続いております。

※()は前年度実績

問2. 貴社では、2022年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|---------|------|---------|
| 1 非常に良い | 4 普通 | 5 やや悪い |
| 2 良い | | 6 悪い |
| 3 やや良い | | 7 非常に悪い |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 良い	4.3%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	1.2%
3 やや良い	13.0%	14.3%	5.5%	6.7%	7.0%	28.6%	8.7%
4 普通	34.8%	64.3%	41.8%	40.0%	53.5%	28.6%	44.8%
5 やや悪い	39.1%	14.3%	32.7%	33.3%	34.9%	42.9%	33.1%
6 悪い	4.3%	0.0%	20.0%	16.7%	4.7%	0.0%	11.0%
7 非常に悪い	4.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%

2022年の自社の業況(景気)見通しは、前問の「日本の景気見通し」とは違い全事業先を見ると「普通」が44.8%(42.4%)と最も多くなりました。全事業先で「良い」(やや良い・非常に良いを含む)と回答した先は9.9%(1.7%)で、コロナウイルスの沈静動向を受け、経済回復への可なり期待がうかがわれます。また、「悪い」(やや悪い・非常に悪いを含む)45.3%(55.8%)とやや高止まっているものの、前年度よりはやや改善しております。業種別では、小売業52.7%(63.6%)・サービス業50.0%(56.7%)・製造業47.7%(78.3%)の順に「悪い」と見通しています。

※()は前年度実績

問3. 2022年において貴社の売上額の伸び率は、2021年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|-------------|---------|-------------|
| 1 30%以上の増加 | 5 変わらない | 6 10%未満の減少 |
| 2 20~29%の増加 | | 7 10~19%の減少 |
| 3 10~19%の増加 | | 8 20~29%の減少 |
| 4 10%未満の増加 | | 9 30%以上の減少 |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 30%以上の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 20~29%の増加	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.6%
3 10~19%の増加	0.0%	7.1%	3.6%	3.3%	2.3%	0.0%	2.9%
4 10%未満の増加	17.4%	50.0%	20.0%	10.0%	20.9%	14.3%	20.3%
5 変わらない	47.8%	35.7%	41.8%	66.7%	51.2%	71.4%	50.0%
6 10%未満の減少	26.1%	0.0%	23.6%	13.3%	16.3%	14.3%	18.0%
7 10~19%の減少	8.7%	0.0%	7.3%	3.3%	4.7%	0.0%	5.2%
8 20~29%の減少	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	2.3%	0.0%	1.7%
9 30%以上の減少	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.2%

2022年における自社の売上額の伸び率は全体では「変わらない」と回答した先が50.0%(45.3%)と、最も多くなりました。

全事業先で「増加」(10%未満~30%以上を含む)と回答した先は23.8%(7.6%)で、業種別では卸売業57.1%(7.1%)・小売業23.6%(7.3%)・建設業23.2%(9.3%)の順となっております。また、全事業先で「減少」(10%未満~30%以上を含む)と回答した先は26.1%(47.1%)となりました。業種別では、製造業34.8%(52.1%)・小売業34.5%(52.7%)・建設業25.6%(34.8%)の順で減少を見通しています。

※()は前年度実績

問4. 貴社では、自社の業況が向上く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 すでに上向いている | 5 3年後 |
| 2 6か月以内 | 6 3年超 |
| 3 1年後 | 7 業況改善の見通しは立たない |
| 4 2年後 | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 すでに上向いている	17.4%	14.3%	9.1%	10.0%	23.3%	14.3%	14.5%
2 6か月以内	8.7%	7.1%	10.9%	10.0%	9.3%	14.3%	9.9%
3 1年後	26.1%	0.0%	21.8%	30.0%	7.0%	0.0%	17.4%
4 2年後	26.1%	28.6%	18.2%	13.3%	11.6%	0.0%	16.9%
5 3年後	4.3%	14.3%	12.7%	10.0%	18.6%	14.3%	12.8%
6 3年超	8.7%	7.1%	1.8%	10.0%	9.3%	14.3%	7.0%
7 業況改善の見通しは立たない	8.7%	28.6%	25.5%	16.7%	20.9%	42.9%	21.5%

(複数回答)

自社の業況が向上く転換点では、全業種を通じ「業況改善の見通しは立たない」が21.5% (20.9%) で最も多くなりました。業種別では、不動産業・卸売業・小売業の順となり、それぞれ42.9% (0.0%)、28.6% (28.6%)、25.5% (23.6%) となっております。1年後以内(すでに上向いている・6か月以内を含む)を転換点とする回答は41.8% (44.1%) で、業種別では、製造業52.2% (43.4%) が最も高く、以下サービス業50.0% (36.7%)、小売業41.8% (41.8%) と続いております。

※ () は前年度実績

問5. 様々な分野で原材料・仕入価格の上昇が経営上の問題点となっていますが、貴社ではどのような対応を取っていますか。上昇分を販売価格に転嫁できている方や、そもそも原材料・仕入価格が上がっていないという方は1を、また、価格転嫁できていない方は仕入(調達)価格上昇への対応について2~0の中から最大3つまで選んでお答えください。

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1 販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない | 6 代替品の確保 |
| 2 仕入先・仕入方法の変更 | 7 仕入の削減(生産・販売量の調整) |
| 3 製品・商品・サービスの見直し | 8 仕入の中止 |
| 4 経費の節減 | 9 その他() |
| 5 生産性の向上(システム投資など) | 0 特に対応していない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない	5.6%	47.4%	17.1%	16.3%	11.5%	10.0%	15.9%
2 仕入先・仕入方法の変更	22.2%	5.3%	5.3%	7.0%	16.4%	10.0%	11.0%
3 製品・商品・サービスの見直し	13.9%	15.8%	11.8%	16.3%	6.6%	10.0%	11.8%
4 経費の節減	33.3%	15.8%	34.2%	41.9%	31.1%	50.0%	33.9%
5 生産性の向上(システム投資など)	5.6%	5.3%	3.9%	2.3%	4.9%	10.0%	4.5%
6 代替品の確保	5.6%	5.3%	3.9%	4.7%	8.2%	0.0%	5.3%
7 仕入の削減(生産・販売量の調整)	2.8%	0.0%	9.2%	4.7%	1.6%	0.0%	4.5%
8 仕入の中止	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
9 その他()	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
0 特に対応していない	11.1%	5.3%	11.8%	7.0%	19.7%	10.0%	12.2%

(複数回答)

原材料・仕入価格の上昇に対する対応については、「経費の削減」33.9%が最も高く、以下「特に対応していない」12.2%、「製品・商品サービスの見直し」11.8%が続きました。また、「販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない」とした回答は15.9%となっております。業種別にみた対応では、卸売業では「販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない」47.4%と突出しており、不動産業・サービス業では「経費の削減」が、それぞれ50.0%、41.9%と割合が高くなっております。

主要経済指標

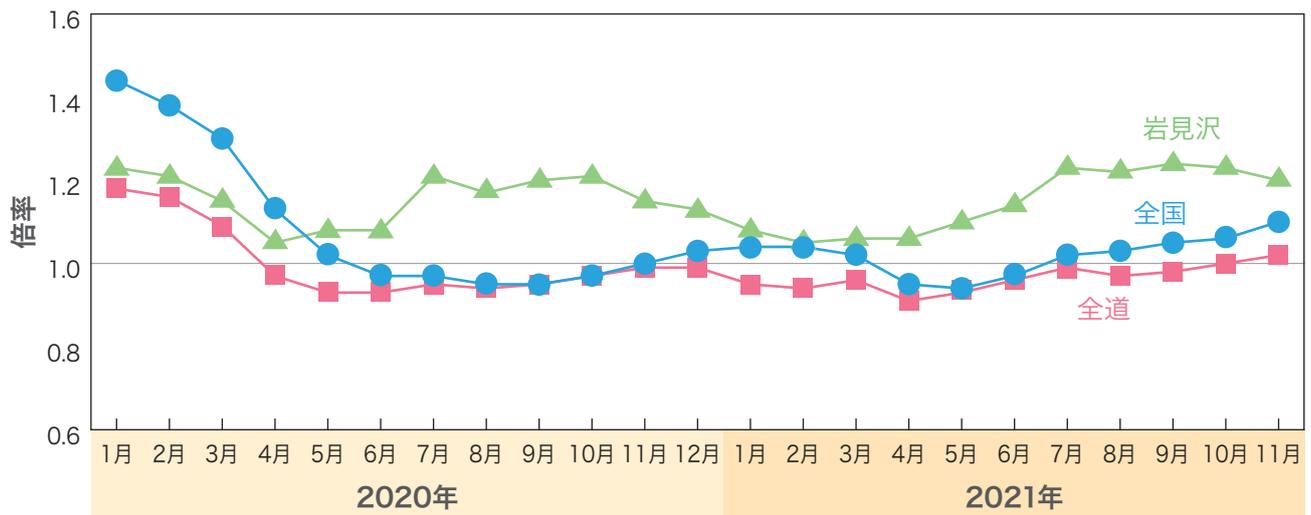
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2020年	2021年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
岩見沢市	79,361	79,262	79,163	78,855	78,887	78,832	78,706	78,658	78,566	78,419	78,338	78,223
美唄市	20,507	20,449	20,420	20,328	20,281	20,249	20,213	20,189	20,159	20,108	20,074	20,040
三笠市	8,153	8,131	8,086	8,040	8,059	8,039	8,029	8,012	8,007	7,982	7,977	7,954
栗山町	11,474	11,454	11,424	11,368	11,381	11,368	11,339	11,340	11,329	11,327	11,337	11,325
南幌町	7,447	7,436	7,432	7,416	7,413	7,397	7,389	7,397	7,394	7,387	7,393	7,383
由仁町	4,932	4,926	4,919	4,906	4,894	4,890	4,897	4,896	4,894	4,887	4,886	4,876
長沼町	10,515	10,501	10,490	10,442	10,431	10,412	10,405	10,392	10,387	10,376	10,357	10,343
江別市	119,819	119,776	119,682	119,500	119,748	119,739	119,718	119,672	119,664	119,777	119,740	119,717

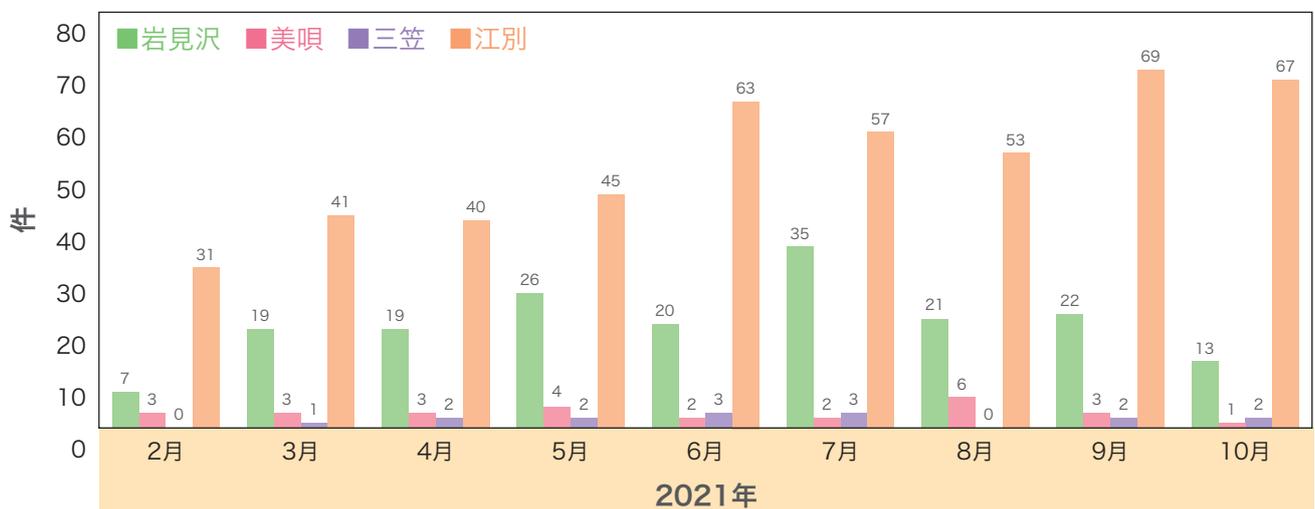
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物

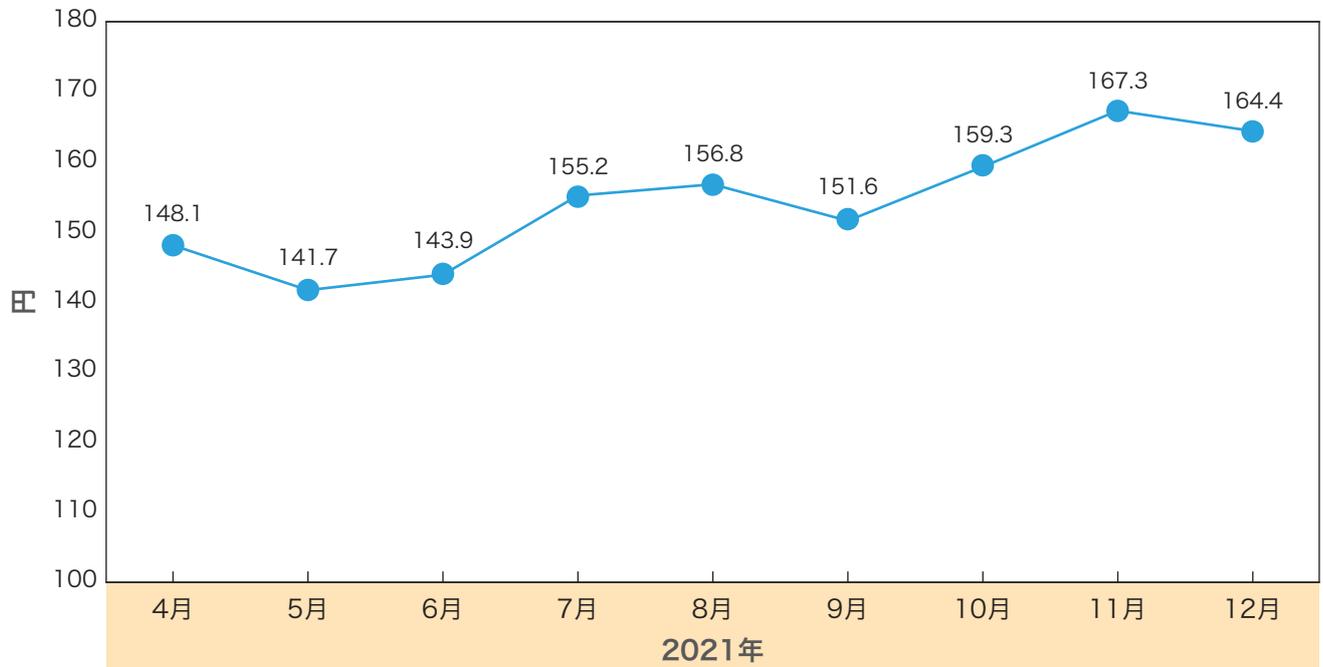


(資料：北海道建設新聞社)

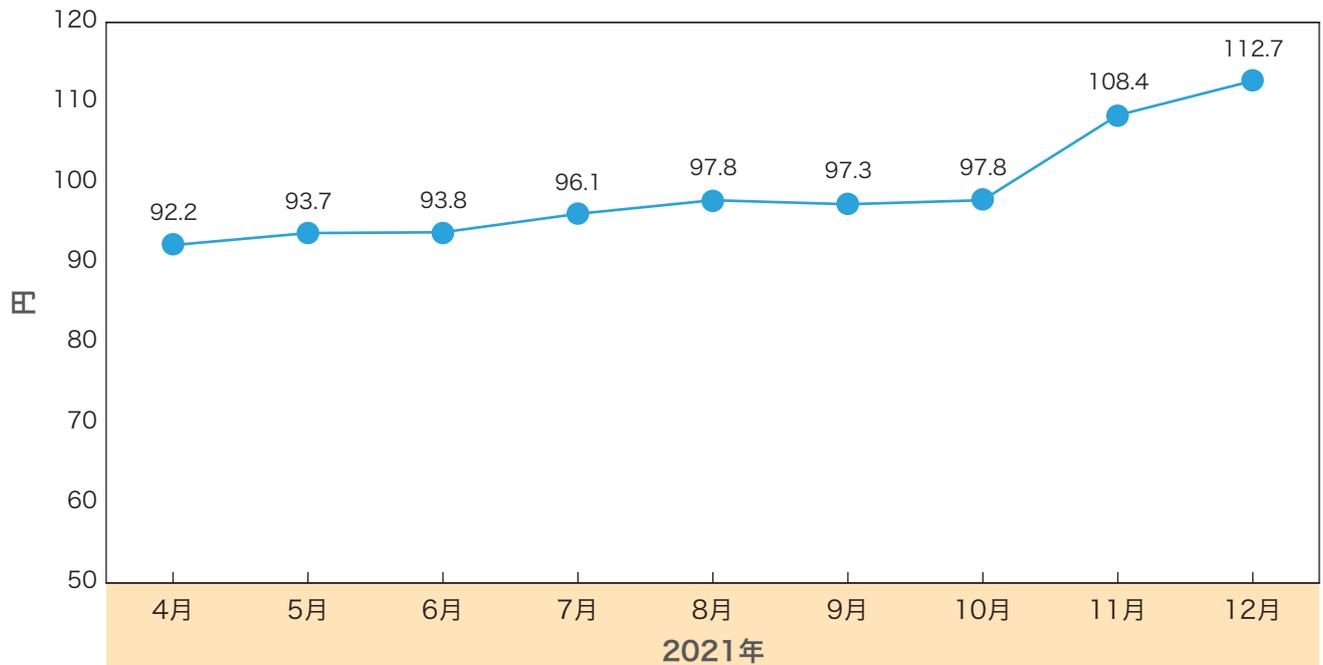
4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

5信用金庫のお取引先企業のご紹介コーナー

(株)ニュートラル

紹介者：空知信用金庫（担当部：地域支援部 ☎0126-22-1171）

主に製パン、製菓工場向けの省人、省力化機械設備の開発、設計を行っております。食品工場プラント設計及び工事も取り扱っており、各種機械装置から工場付帯設備まで、幅広くお客様のニーズに合わせた環境、装置の開発を続けております。

また、オーブンで使用する天板のシリコン再生なども行っており、使用し続けて汚れた天板やラックなどの洗浄も承ります。

〒063-0830 札幌市西区発寒10条西14丁目1067-11
担当者：金山 聖子 様
Tel 011-667-4551 Fax 011-667-4556
Hp <http://www.neutral-jp.com/index.htm>
E-mail kanayama@neutral-jp.com



【主要取扱商品】

マルチスライサー、ほぐし装置、
天板クリーナー、天板シリコン再生

(有)洋菓子アリス

紹介者：北海道信用金庫 札幌圏（担当部：しんきん北海道
金融センター ☎011-706-1500）

洋菓子アリスは1990年に札幌市西区西野で誕生しました。看板商品のエディブルフラワーを使ったクッキー「はなこ」は開店当時、まだ一般的ではないエディブルフラワーを1から勉強・研究し作り上げました。ピオラやペゴニア、マリーゴールドなど約20種類の花びらを一つ一つ手作りで焼き上げています。

色鮮やかなクッキー「はなこ」は今では全国から注文が広がるロングセラーです。

〒063-0038 札幌市西区西野8条5丁目17-19
担当者：庄司 克也 様
Tel 011-664-7757 Fax 011-664-7757
Hp <http://www.yougashi-alice.jp>
E-mail info@yougashi-alice.jp



【主要取扱商品】

お花のクッキー「はなこ」

マルシェゆきだるま

紹介者：北海道信用金庫 後志圏（担当部：しんきん北海道
金融センター ☎011-706-1500）

「マルシェゆきだるま」は倶知安町のホームック内にある後志地域の産直ショップです。倶知安町をはじめ周囲の農家さんから仕入れた新鮮な野菜や果物を中心に、地元の肉や魚・乳製品などを使った加工品、パンやお弁当、焼き菓子や乾物、日本酒・ワイン・ビール・焼酎などのアルコール類まで、後志の美味しいものがたくさん集まっています。ご来店のお客様はもちろん、通信販売で全国に地域の魅力をお伝えしています。

〒044-0076 虻田郡倶知安町高砂91-21 ホームック倶知安店内
担当者：櫻田 一幸 様
Tel 0136-55-5554 Fax 0136-55-5364
Hp marche-yukidaruma.com



【主要取扱商品】

農産物及び食肉・水産加工品等

このコーナーは、空知、北海道、室蘭、苫小牧、旭川の各信用金庫のお取引先企業様をご紹介します「誌上ビジネスマッチング」です。是非、皆様の販路拡大やビジネスの連携にお役立て下さい。お問合せは、直接掲載企業様もしくは紹介信用金庫までご連絡下さい。

バルクマート

紹介者：室蘭信用金庫（担当部：お客様支援部 ☎0143-44-3355）

1950年から白老町で祖父母がリアカーで行商を始めたのが、「バルクマート」の原店です。以来、ご近所のお客さまや町内外のお取引様に支えられ、今日も「食でお客さまを笑顔にする」ことを目標に営業しております。ご紹介して頂きます商品、営業内容としましては、日替り配食弁当のよんごー「450円」弁当、御法要、慶事等の仕出し料理、各種パーティーのケータリングサービス、業務用一般食品、生鮮食品の納品等を行っています。

白老町は昨年の7月に国立博物館の「ウポポイ」がオープンしました。私たちもそのオープンに合わせ、アイヌ料理の手法や素材と白老の食材を融合させた「しらおいハープ弁当」（ハープ=白老周辺のアイヌ語で感謝の意）を開発し販売を開始したとこです。

どうぞお近くにお越しの際は、お気軽にご来店ください。また、当店の商品、サービスに関してのお問い合わせの際もお気軽にご連絡下さい。これから、バルクマートをよろしくお願ひいたします。

〒059-0923 白老郡白老町字北吉原260 担当者：堀田 尚史 様
Tel 0144-84-2233 Fax 0144-84-2234
Hp <http://balku-mart.com/company> E-mail baluk-m@amber.plala.or.jp



【主要取扱商品】

弁当、御法要、慶事等の仕出し料理
パーティーのケータリングサービス

ビストロヤ シーラカンス

紹介者：苫小牧信用金庫（担当部：業務推進部 ☎0144-56-5026）

利尻島で19年間お店を構え、2019年に千歳みどり台で移転オープンしたレストラン。

近郊の農家さんから仕入れた野菜、利尻・苫小牧の魚介類を使った料理は、子供から大人まで幅広く楽しめる内容。

店内には広くキッズスペースもご用意しております。千歳市へお立ち寄りの際は、是非当店へお越しください。皆様のご来店お待ちしております。Instagramも是非チェックしてみてください。(coela3030)

〒066-0083 千歳市みどり台北4丁目2番7号
担当者：新谷 卓美 様
Tel 0123-26-3030
Hp <https://bisutoro-ya-coelacanth.amebaownd.com>
E-mail coelaboss@icloud.com



【主要取扱商品】

野菜（千歳・恵庭）、魚介（利尻・苫小牧）
※6月中旬～9月まで 利尻の活うに
（入荷時のみ）

Onnea Sweets & Coffee

紹介者：旭川信用金庫（担当部：地域振興部 ☎0166-26-1175）

旭川市で主にパンケーキやワッフルを提供しておりますスイーツカフェです。

お店で作るパンケーキをご家庭で簡単に再現できるよう試行錯誤し、この度商品化させていただきました。原材料を北海道産にこだわり、厚みのある甘さ控えめなパンケーキに仕上がりますので、おやつや朝食など、幅広いシーンで活躍いただけます。

また、お食事のお供として、焙煎度合いにこだわったコーヒーも大変ご好評いただいております。

〒078-8234 旭川市豊岡4条2丁目5-20
担当者：金谷 樹 様
Tel 0166-31-3098
E-mail no.1.by.md@gmail.com



【主要取扱商品】

北海道産パンケーキミックス、
コーヒー豆

空知信用金庫 SDGs宣言

当金庫は、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」の趣旨に賛同し、当金庫の経営理念である「郷土の繁栄に寄与し、大衆からも職員からも喜ばれ、敬愛と信頼される信用金庫を創る」ため、SDGsを経営計画に反映させ、地域金融機関として地域社会の課題解決を実践し、持続可能な社会の実現に向け、これまで以上に積極的に取り組んでまいります。

令和3年1月1日
空知信用金庫
理事長 熊尾 憲昭

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



そらちしんきん 個人向けローン

お申込みからご契約まで
来店不要

WEBで完結



カーライフプラン

ご融資利率

年 **1.15%** (※)
~年 **2.60%**

変動金利 (保証料込)

教育ローン

ご融資利率

年 **0.85%** (※)
~年 **2.30%**

変動金利 (保証料込)

個人ローン

ご融資利率

年 **3.10%** (※)
~年 **4.30%**

変動金利 (保証料込)

フリープラン

ご融資利率

年 **3.00%**
~年 **11.00%**

固定金利 (保証料込)

カードローン

ご融資利率

年 **11.00%**

固定金利 (保証料込)

詳しくは、空知信用金庫本支店窓口までお問い合わせまたはホームページをご覧ください。 (※) 下限金利の適用には一定の条件があります。

令和4年1月末現在

住宅ローン 特別金利

令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)
※募集総額が40億円に達し次第、募集を終了させていただきます。

お借入時年齢が50歳未満の方対象
充実した保障が **全国信保険料**
すべて金利上乗せ **なし 0円**
※保険会社の判断により加入できない場合があります。(保険料は当金庫が負担)

ご返済期間は**最長40年** ※保証会社の判断により短縮する場合があります。

変動金利型 新規受付利率

年 **0.65%** ~ 年 **0.75%** (※)

固定金利期間選択型 新規受付利率

固定金利特約期間 **10年**
年 **0.80%** ~ 年 **0.90%** (※)

(※) 下限金利の適用には一定の条件があります。別途、保証料がかかります。

固定金利期間選択型については固定金利期間終了後は、ご返済まで店頭基準金利から **年1.50%優遇いたします**

スマホで簡単申込み WEBで住宅ローン

事前審査お申込みが **2ステップ** で簡単に!!

ステップ 1 空知信用金庫の
ホームページにアクセス

そらち信金で検索

事前審査お申込み **365日・24時間対応**

スマホの方は
こちらから



ステップ 2 サイト内の住宅ローン受付に
必要事項を入力

当金庫ホームページ内の住宅ローンWEB受付のお申込み欄
に必要事項をご入力していただき、事前審査お申込み完了!!
事前審査結果は後日お知らせいたします。

※しんきん保証基金保証付住宅ローンのみ

事前審査後の本申込みは営業店にて受付いたします

対象者 / 返済時年齢満80歳以下の方。
団体信用生命保険にご加入できない場合は、0.30%をご融資利率に上乗せします。

ご融資金額 / 1億円以内

ご融資期間 / 40年以内

担保 / ご融資物件に抵当権を設定します。

保証 / (一社)しんきん保証基金または全国保証㈱の保証。

保証料 / 保証会社の保証料についてはお借入時一括または保証会社が定める保証料率をご融資利率に上乗せした毎月払とします。(一括払いの例) ご融資金額100万円、お借入期間25年の場合、7,891円～152,188円(毎月払いの例) 保証料率年0.07%～0.40%

手数料 / お借入時年齢が(50歳未満の場合)保証付住宅ローン事務取扱手数料(お借入金額に応じて)55,000円～220,000円(税込)、(50歳以上の場合)不動産担保事務取扱手数料49,500円(税込)(年齢に関わらず)全国保証㈱の保証で保証料一括払の場合は取扱手数料55,000円(税込)。
また、繰上返済や返済条件変更の場合は当金庫所定の手数料がかかります。

※ご返済額の試算につきましては店頭へお問い合わせください。

※店頭にて説明書をご用意しております。詳しくは窓口までお問い合わせください。

※固定金利特約期間満了後は、「キャップ(上限利率)付変動金利型」となりますが、ご希望により再度「固定金利期間選択型」を選択することができます。なお、固定金利選択期間中は、「変動金利型」や「全期間固定金利型」、あるいは他の固定金利特約期間への変更はできません。

※「変動金利型」から「固定金利型」、「固定金利期間選択型」に変更する際は条件変更手数料11,000円(税込)がかかります。また「全期間固定金利型」からは「変動金利型」あるいは「固定金利期間選択型」への変更はできません。

※当初お借入金利は、お申込時点の金利が適用されます。また、金利情勢の変化により、受付期間中に金利を見直しすることもございます。

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



